

【第一回】

諸橋轍次記念

漢字文化理解力検定

二〇一八年九月三十日

※解答は楷書で記すこと。なお、字体や仮名遣いが一般的なものと大きく異なる場合には、減点の対象とすることがある。

【問題一】

次に掲げるのは、諸橋轍次の隨筆「松のおしえ」である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。（問題作成にあたって、一部、文章を改めたところがある。）

年々夏は故郷の越後に帰ることにきめているので、ことしも例によつて帰つて行つた。三条という町から自動車で四十分、やがてなつかしい庭月にわつきの村に着いた。私の宅いえはちょっと村里から離れて高いところにあるのだが、それでも村の入口に行くとすぐ邸やしょが見える。いつに変わらぬのではあろうが、ことしは特に青々と①翠aをたたえて、家屋全体を②蔽ひうている邸の松に氣を引かれた。

出迎えの人へ迎えられて家に入り、まず仏壇におまいりして茶の間に落ちついた。フト見ると正面に例の松が、はだかるように太い③幹bを表している。翠を滴らしている葉の色も美しいが、この老龍の④ウロコにも似たこの幹のたくましさは、また別様の美のあることに気がついた。太さはいつたいどのくらいのものだろう。そこで今度は庭下駄をはいて樹のまわりに歩を運んだ。両手を広げて抱えてみると、二まわりは⑤ユウcにある。尺になおせば⑥一丈余だ。直径は円周の三分の一だというから、その計算でいくと直径三尺余ということになる。

私の記憶に残っている頃の幹の太さは、たしか直径五、六寸程度であつたと思う。その時の私の年は十五、六歳、今日は八十五歳だから、七十年の間に松はこれだけ生長したのだナアと、いまさらのように驚かされるのみだ。

では樹齢はどうであろう。私の十五、六歳頃、直径五、六寸ばかりの松は、それまでに二十年は生きていたはず。してみるとその後の七十年を加えて、少なく見積もつても百歳近くの歳月は生きていたことになる。これも一つの驚きだ。

ついでに庭を一周してみた。西側にも一本の松があり、太さはやはり茶の間の前のものと同じくらいである。狭い邸だが、西側は①渺茫たる水田のつづきで、目を放てば遙か十余里遠くに、越後一の弥彦山が見える。眺望は④スコブるよいが、それだけにまた西風の時などには風あたりも強い。二、三年前越後地方に集中暴風が吹きあれて、非常な大被害を与えたことがある。わが郷里もその影響で、屋根は飛ぶ、木は倒れるという惨状が到るところで見られた。

しかし、その時にもこの松は折れもせず倒れもせず、⑤厳として巨人のごとく、自己の立場を保っていた。百年の風雪に堪えるという言葉は世間でよく聞くが、今現実に見るこの松が、そのものズバリの実現者だと考えた時、何ともいいようのない、嬉しいような、ありがたいような、そして一面には悲壮なような情感がわいてきた。「積翠せきすい長く留む後凋こうちようの節。知らず⑥経過す幾千年」というのは父の句だが、フトそれらのことを口ずさんで、遠い遠い過去の追憶にふけつたのであった。

あとは東京に帰つてからの話。

ことしの正月、⑤コンイの友人から盆栽を頂戴した。小松を中心として、外に⑧南天と福寿草を配しためでたいものであつた。たいせつな友人の心を込めて贈りものだから、正月がすんぐからも庭先に下ろし、朝夕の水を忘れぬよう注意していた。

国元の妹からは、また亡くなつた主人の⑥イアイのものだといつて、極めて小さい鉢二つ、一つに小さい⑦欅、一つは小松を植えたものを送つてきた。これも意味あるたいせつなものだから、手入れおさおき怠らず、たいせつにそだててきた。

幸いに両者とも元気に育つてゐるが、秋が去り冬が近づいて来る昨今、後者では欅はすでに葉が落ち、前者では福寿草はあと方なく、南天は葉が凋しほんできた。

そして、両者とも小松だけは依然としてその翠を保つて眼を楽しませてゐる。あたりまえのことではあるが、夏休み中、国元で邸の松を見た時とは、また別様の意味を感じたのである。(A)の中に、

歳寒くして①然る後に松柏の凋むに②後ることを知る。(子罕)

という句がある。寒い時節になつて見ると、はじめて他の草木の枯れしほむのに、松柏のみが依然として緑の色美しく残っていることに気がつく。歳寒とは寒い年の意味ではなく、一年中の寒い季節の意であり、「凋むに後る」とはあとから凋むという意味ではなく、永久に凋まぬという意味である。

この句は「(k) (B)に遇はずんば、何を以てか利器を別たんや」という句などと同様、国家昏乱の時に忠臣・義士が現れ、人生の一大事に臨んで英雄・傑士が現れるという教訓を含んだもので、私の常に愛唱している句であるが、さてその句を誦する時に、私の頭に映じた松柏は、いつも(C)と⑦ソビえ、鬱々として茂っている郷里の巨松のようなものであつて、東京の盆栽の松のように小さいものではなかつた。しかるに今度は盆栽の松にも同じ後凋の翠のあることを、ありありと直観したのである。

因つて思う。歳寒の晩節はひとり偉人・傑士の非常時にのみ必要のものではない。我々凡人の日常の生活中にもその要はあるのではあるまいかと。

(『諸橋轍次著作集第十巻』による)

問1 傍線部①～⑦のカタカナを漢字に、漢字をカタカナに改めなさい。(各2点)

問2 二重傍線部(a)「翠」と同じく、「みどり」と訓読みする漢字を一つ、書きなさい。(各2点)

問3 二重傍線部(b)「幹」を『大漢和辞典』で調べる場合、(1)どの部首の、(2)何画のところを見ればよいか、答えなさい。(各2点)

問4 二重傍線部(c)「一丈」を、メートル法に換算した結果としてふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで記号で答えなさい。(2点)

ア 約一メートル
イ 約三メートル

ウ 約五メートル
エ 約九メートル

問5 二重傍線部④「渺茫」の使い方としてふさわしくないものは、次のうちどれか。一つ選んで記号で答えなさい。(2点)

ア 岬の先には、渺茫とした海が広がっている。

イ 古代エジプトの渺茫たる歴史に思いを馳せる。

ウ 大宇宙の神秘を感じて、渺茫とした思いになる。

エ 五年以内に優勝するという、渺茫とした目標を立てる。

問6 二重傍線部⑤「嚴」には、二種類の音読みがある。そのそれぞれを使って読む漢字二字の熟語を一つずつ、挙げなさい。(各2点)

問7 二重傍線部⑥「経」の旧字体を書きなさい。(2点)

問8 二重傍線部⑦「南天と福寿草を配しためでたいもの」とあるが、次の文は、南天がめでたいとされる理由を説明したものである。空欄にふさわしい漢字一文字を答えなさい。(2点)

その名前が、（ ）を転じると解釈できるところから。

問9 二重傍線部⑧は「けやき」と読む漢字である。これと同じく「擧」という形を構成要素とする字の中に、国字（漢字になら

って日本で作られた文字）が一つある。それを書きなさい。(2点)

問10 空欄Aに当てはまる中国古典の書名を答えなさい。(2点)

問11 二重傍線部⑨「然る後に」と同じ意味で「然」が用いられている熟語として最もふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで、記号で答えなさい。(2点)

ア 必然 イ 驚然 ウ 憊然 エ 判然

問12 二重傍線部①「後るる」の読み方「おくるる」は、現代語では「おくれる」に当たる。では、「おくれる／おくるる」以外の「後」の訓読みを、三つ、書きなさい（送り仮名があればそれも含める）。（完答2点）

問13 二重傍線部⑥は、「困難に直面したときこそ、その人の力量がわかる」という意味を表す、『後漢書』という中国の歴史書に出て来る名言である。

(1) 空欄Bに入る四字熟語としてふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで、記号で答えなさい。（2点）

ア 千辛万苦 イ 毁譽褒貶 ウ 盤根錯節 エ 栄枯盛衰

(2) 後漢王朝の皇帝の呼び名としてふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで、記号で答えなさい。（2点）

ア 康熙帝 イ 洪武帝 ウ 孝武帝 エ 光武帝

問14 空欄Cに入る熟語としてふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで記号で答えなさい。（2点）

ア 亭々 イ 蕭々 ウ 峨々 エ 赫々

【問題Ⅱ】

漢語の意味に注意して、あとの問い合わせに答えなさい。

問1 傍線部を正しい漢字に改めなさい。(各2点)

- ①あつという間に消えて、陰も形もなくなった。
- ②選手に喝を入れて勝てるのなら、こんなに苦労はしない。
- ③完璧な仕上がりだ。我ながらほれぼれする。
- ④厚顔無知とは君のことだ。
- ⑤下熱剤の副作用で胃炎になつた。

問2 次の年齢を表す語を若い順に並べ直し、記号で答えなさい。(完答6点)

ア 還暦 イ 志学 ウ 古稀(古希) エ 不惑 オ 弱冠

問3 次の故事成語と関係の深い人物の組み合わせとして、正しくないものを次のア～キから二つ選び、記号で答えなさい。(各2点)

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ア 韻 <small>ひそ</small> みに効 <small>なら</small> う 人物 | 西施 |
| ウ 奇貨 <small>お</small> 居くべし 人物 | 呂不韋 <small>りょふい</small> |
| エ 覆水盆に返らず 人物 | 太公望 <small>たいこうぼうりょじょう</small> 呂尚 |
| オ 力 <small>りゅう</small> 推敲 人物 | 白眼 <small>さくげん</small> 柳宗元 |
- イ 危急存亡の秋とき 人物 諸葛亮しょかつりょう
- カ 三遷の教え 人物 孔子こうし
- 阮籍げんせき

【問題III】

国字（日本で作られた漢字）・国訓（日本で作られた字義）について、あとの問い合わせに答えなさい。

問1 「たこ」と読む国字のうちで、次の二つの条件に当てはまる字を一字で書きなさい。（2点）

- ・新潟県三条市などで催されるその物を用いた行事の名では「いか」と読まる。
- ・長崎県などでは「はた」と読まれることがある。

問2 次の五字の中から国字を一字探し、その字について次の問い合わせに答えなさい。（各2点）

「囮 壇 虻 腺 秤」

(1) 辞書などにある一般的な読みをひらがなで答えなさい。

(2) その字を用いる二字熟語（訓読みを用いてもよい）を一つ答えなさい。

問3 次の四字の中から国訓をもつ字を一字探し、その訓読みをひらがなで書きなさい（送り仮名があればそれも含める）。（2点）

「灘 碠 摶 轉」

【問題Ⅴ】

次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

漢字の作り方と使い方に關する原則とされる①「六書」は、（ A ）・指事・（ B ）・形声・転注・仮借で構成されています。「六書」が最初に見える文献は『（ C ）』の②「藝文志」ですから、だいたい前漢末期から後漢はじめにかけて成立した理論と考えられます。この六書の各項目について、後漢の許慎が著した中国最古の字書（ D ）の序に③例字があげられています。許慎は、九千種類あまりの漢字を（ E ）によつて整理し、それぞれの漢字に「六書」を適用して本来の意味をあきらかにしています。

問1 次の文章の空欄A～Eに入る語として次のア～コから適切なものを選び、記号で答えなさい。（各1点）

- | | | | | |
|-------|--------|------|------|------|
| ア 異体字 | イ 史記 | ウ 前漢 | エ 玉篇 | オ 漢書 |
| カ 会意 | キ 説文解字 | ク 象形 | ケ 韻目 | コ 部首 |

問2 傍線部①②の日本語での読みを、ひらがなで答えなさい。（各2点）

問3 傍線部③について、次のⒶ～Ⓔの漢字は、六書のうちのどの例とされているか。次のア～エから適切なものを選び、記号で

答えなさい。（同一項目に複数の文字が当てはまることがある）。（各1点）

- Ⓐ 江 Ⓛ 考 Ⓛ 長 Ⓛ 河 Ⓛ 下
〔 ア 仮借 イ 転注 ウ 形声 エ 指事 〕

【問題V】

諸橋轍次の生涯や業績について、次の問いに答えなさい。



問1 上の写真は、記念館からもよく見える、名勝、八木ヶ鼻である。諸橋轍次は幼いころ、この岩山を見て、中国のある物語の主人公が生まれた場所を思い浮かべたという。

- (1) その物語の題名を、漢字で書きなさい。 (2点)
- (2) その物語の主人公の名前を、漢字で書きなさい。 (2点)

問2 上の写真は、諸橋轍次が中国の古典『礼記』の一節を揮毫した書である。

(1) この一節の読み方としてふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア もつてわのためにするはたつとし
イ わをもつてするはたつときがためなり
ウ わをもつてなすはたつとし

エ わをもつてたつとしとなす

(2) このことばと関係の深い日本史上の人物としてふさわしいものは、次のうちどれか。一つ選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア 小野妹子
イ 中大兄皇子
ウ 聖德太子
エ 蘇我馬子

問3 現在、『大漢和辞典』は、全体で十五巻で構成されているが、そのうち、本文は何巻あるか。

次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア 十巻 イ 十一巻
ウ 十二巻 エ 十三巻

